



記事執筆 足がかりの書



【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。
できない場合は最新の [AdobeReader をダウンロードしてください。（無料）](#)

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部、
又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、
転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に
同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、
著作権者の許可なく、この商材の全部、
又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、
転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、

関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事や刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、

著者 パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者 パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

もくじ

1・ご挨拶	5
2・記事執筆という作業の概要.....	6
3・調べ物（リサーチ）について	11
4・記事書き	22
5・例文	27
6・例文の補足と書き方の基本解説	39
おわりに	45

1・ご挨拶

こんにちは！
レポート著者のいーけーこと加藤と申します(^^)

ご登録まことにありがとうございます！
改めて感謝申し上げます。

このレポートでは記事の書き方について
僕なりの経験も交えていろいろお伝えしていきます。

記事の書き方だけではなく
その前の段階についても触れています。

いきなり書こうと思っても書けないですからね…

ではもったいぶるのもアレなので
さっそく本題に移りたいと思います。

2・記事執筆という作業の概要

記事の作成もそれなりにガッツがいる作業です。

しかも地味というおまけ付き…(笑)

アフィリエイトは記事を書いてなんぼというか
それをしないと始まらないのですが、
多くの方にとって大きな峠の部分になっていると思われます。

アフィリエイトで稼げないという人が
未だに大半を占めていると言われますが
その中の大多数の人は
アフィリエイト手法が理解できないのではなく、

**そもそも記事が書けないという理由で
稼げていないと推察できます。**

とりあえず記事を書いてさえすれば
稼げるという単純な時代ではありませんが、
そもそも記事がないことにはお話になりませんよね？

存在しないものにアクセスを集めようがないので…

アフィリエイトは案件ありきではありますが
もっと根本的な解釈では「記事ありき」です。

極めて当たり前のことを言っているようですが
記事があまり書けていない状態ならば…
当たり前と高をくって言えないかと(^_^;)

広告の設定とかブログの開設とか
ちょっとややこしいところはありますが
手法自体は全体的に難しくありません。

設定類は最初だけなので
あとはひたすら記事を書いていくだけです。

記事書きの作業はガッツがいりますが
難しい作業ではありません。

大雑把にいうと、知らないことをネットで調べて
自分なりの意見を交えて書いていくだけです。

人々の悩みは知恵袋で、
その解決策などの情報はグーグルなどで調べ、
「文章」(※)を書いていきます。

※ちなみに記事の本来の意味は事実を伝える文の集まりで、
文章は記事に自分の感情や考え方などを加えたものになります。

よって本来は「記事」というのはおかしいのですが
便宜上そう表現していくこともあります。

ネットで情報を拾いながら記事を書いていくということは
2次情報以下の情報になるわけですが自分なりの意見、
感情などがあれば立派なオリジナル文章になります。

逆に自分の思いが入っていない文は
ただ事実を伝えているだけなのであんまりというか、
ほとんど価値がないものになってしまいます…

ダイエットには〇〇という方法があります。

他にも□□や△△など
実に様々なダイエット手法が存在しますが
主流と言われるのは〇〇です。

やり方は～～するだけでいいのでとても簡単です。

という感じで、
誰が書いてもいいような当たり前すぎる文では
全然参考にならないし、面白くもないです…(笑)

**近年のグーグルはいろいろ厳しくなっているので
ただアクセスがあるだけではダメで、
しっかり読まれることも大切な要素になっています。**

もちろんそういう解説みたいな部分があってはいけない、
というわけではなく、そればかりにならないよう
気をつけましょうということですね。

アドセンスのいうと、
その媒体の評価がクリック単価にも繋がってきますので、
ちゃんと「文章」を書く！という意識を持ってくださいね！

ちなみにアドセンスの記事は以前、
網羅しないように書くことが推奨されていました。

7～8 割程度の詳しさに抑えて
広告の先で知りたいことを完結させる、
つまりクリックを暗に狙う手法です。

あまり詳しく書きすぎると記事の内容だけで
訪問者が満足してしまうので、
クリックに繋がりにくいという考えですね。

でも今はページビューをはじめ滞在時間の長さなど
訪問者の満足度が高いほうが
ブログが評価される時代ですので、

そのような小手先のテクニックは使わずに
出し惜しみせずしっかり役立つ情報を提供する！
という意識で取り組んでほしいと思います(^^)

3・調べ物(リサーチ)について

では前提部分の確認ができたということで
いよいよ記事を書いていきましょう！

…と言いたいところですが、その前に調べ物が必要です。

またも極めて当たり前のお話になりますが
知らないことは書けませんよね…

書けないどころか認識すら出来ません。

これから紹介する商品のことを始め、
その商品を欲しいと思われる人はどんな人なのか、
実際にどんな悩みや不安があるのか、などなど
いろいろ調べないとわからないことだらけです！

そういったことを知った上で
自分の考えを加えていくのが記事になります。

あとはそれぞれのキーワードをグーグルとかヤフーで検索をかけ、知識を吸収して記事（文章）を書いていくだけです。

とは言うものの、やはりある程度慣れていないとどう進めれば不安に思う部分もあると思うので、僕なりの進め方をご提示していきます。

今回は「ダイエット 長続き」というキーワードを例にして解説していきたいと思います。

ちなみにそのキーワードを選んだ理由は直感です。
なんとなくって感じです
そこはそんなに気にしなくて大丈夫です(笑)

では進めていきます！

調べ物をする際、意識するのは主に次の3つです。

- ① 参考になるページは開いておく
- ② 一番多い悩みにフォーカスする
- ③ 重要だと思うことはメモする

順に解説していきますね！

まず①の参考になるページは開いておくというのは
タブブラウザの話になります。

調べ物はいろんなページを見ることになりますが
ひとつのウィンドウだけを使うとなると
いちいち「戻る・進む」をすることになり効率が悪いです。

後からあの情報が気になったけど
どのページに載っていたっけ？となりがちなので
なるべくタブを開いておきましょう。

調べ物専用のブラウザを用意するか、
アドオンを使って調べ物専用のグループを
作るなどして工夫することをおすすめします。

ポイントは後片付けです！

タブも増えすぎるとややこしくなるので
もう見なくてもいいと思ったページは、
記事を書き終えた後にでも閉じておきましょう。

もちろん開きっぱなしが嫌なら従来どおり
お気に入りを活用しても OK です。

次に②の一番多い悩みにフォーカスというのは、
キーワードごとに知恵袋で調べた内容ですね。

今回の例の場合、

「ダイエットが長続きしないんです。
無理なく続けられる方法はありませんか？」

というのが一番多い悩みとなります。

それを忘れないように
意識して調べようということですね！

**そうでないと延々と調べることになってしまい、
時間がいくらあっても足りません…（汗）**

てことで個人的な感覚では
1 ～ 2 ページくらい見れば十分かな、という印象です。

もちろん、よくわからなければ
もっと探っていてもいいですが
どんなに多くても10ページくらい見れば、

そのキーワードの大体の意味や悩みは
掴めると思います。

Google 検索でのリサーチの場合は
知恵袋と少し違います。

そのキーワードやテーマに対する知識を得るためであり
検索意図を探るために行います。

検索意図とはそのキーワードを打つユーザーが
何を求めているのかという認識のようなもので、
Google がある程度決めている感じです。

検索結果の1ページ目に表示されるウェブサイトは
Google が求める検索結果に沿った内容である
可能性が高いです。

同じく、ユーザーが求めている情報が
載っている可能性が高いと言えます。

ということで Google でのリサーチでも
多くても 2 ページくらいで十分だと思います。

それ以上、深い階層になってしまうと
あまり関係ない内容のページが多くなりますし、
知識を得る意味でのリサーチがしにくくなる傾向にあります。

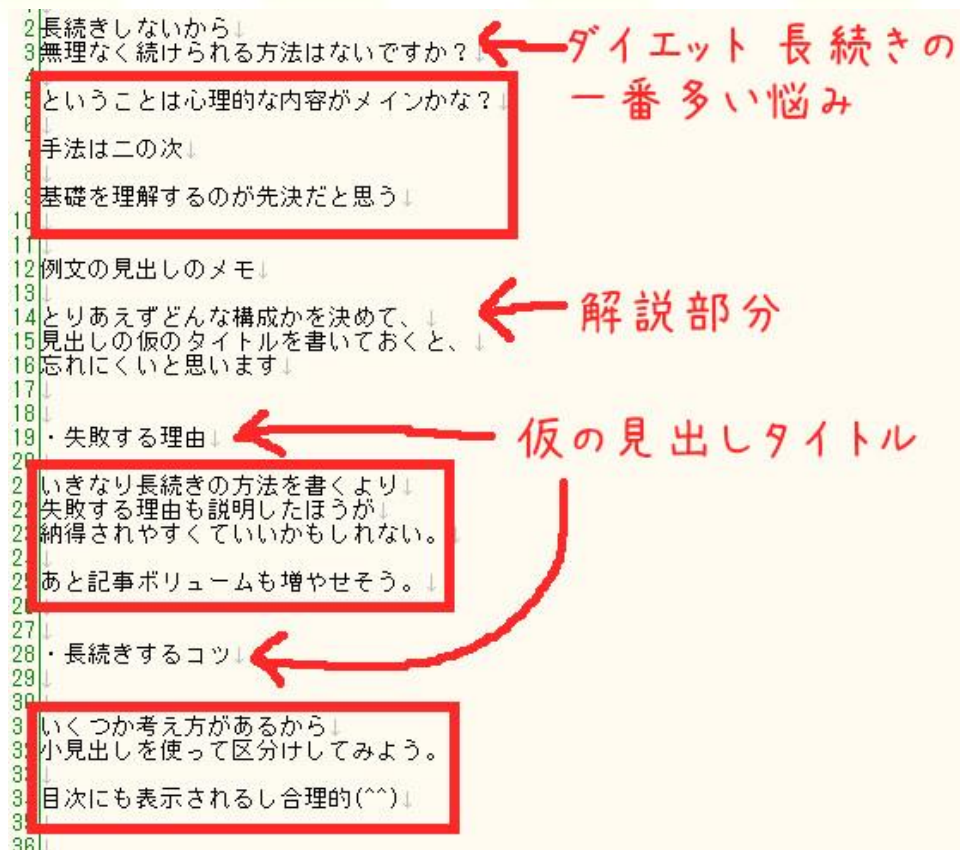
見るべきページというのも特に基準はないですが
タイトルを見て関係してそうと思ったら
なんでも開いてみると意識していれば OK です。

最後に③のメモについて。

メモは大きく 2 種類に分かれます。
短期的なものと長期的なものです。

短期的なメモは次の記事ネタ、思いついたこと、
記事の見出しごとの内容など、とりあえず残しておくもの。

例えばこんな感じです。



赤い四角で囲った部分は僕の心の声を文字化したものです。
(解説部分はこのマニュアルの解説の一部です)

思ったことを一字一句メモする必要はないですが
なにか思いついたときにメモするのは大事だと思います。

そういうのはすぐ忘れるので…(笑)

長期的なメモはエクセルなどに綺麗にまとめて
自分なりの辞書、データベースにするといったものです。

例えばダイエット法の種類とか
太りやすい（太りにくい）とされる食べ物、
ダイエットグッズ（案件）、
詳しいホームページや本の一覧表などですね。

ダイエット法一覧表			
名称	概要	メリット	デメリット
バナナダイエット			
ケトジェニックダイエット			
グルテンフリーダイエット			
ローカーボダイエット			

僕がやるとしたらこういう表をいろいろ作ります。

それぞれの記事ネタ（キーワード）ごとに
調べたことを事細かにメモしなくていいですが、

今後も見返す必要があるなど
重要そうだと思う情報はちよろちよろ出てくると思うので
そういうのは少しずつ蓄積していくという感じです。

そのジャンルを本格的にやっていくのであれば
覚えるべきことはたくさん出てきます。

当然、全部は覚えてられませんのでメモが必須になります。

誰もがいろいろ調べ物をする際、
“ただ画面を見るだけ” をしてしまいがちですが、
それではすぐ忘れてしまうのでよくないです。

メモをする場所（媒体）はいろいろあるわけですが
必然的に情報量は多くなってきますので
なるべくエクセルを活用してほしいところ。

ちょっとしたメモくらいなら先程の例みたいに
原稿のファイル内などに書いておいてもいいですが、
全部テキストやワードファイルとかだと情報が見つけにくくて不便です。

マインドマップも悪くないですがあんまり書くと見づらくなってしまうので、
本格的に残す情報はエクセルが適しているかなと思います。

もちろん、気になる文章をまとめて残したい場合など
エクセルだとメモしにくいと思ったらメモ帳やワードで残すなど
臨機応変にいきましょう(^^)

また、個人的にかなり重要だと思うメモが記事情報です。

記事タイトルや URL、狙うキーワードなどの一覧表ですね。

ブログの管理画面でも一覧は見れますが
ネット上なので反応が遅かったり、
1つのページで全部の情報が表示できなかったり、
自分の好きな項目が設定できないなどの欠点があります。

エクセルだとオフラインなので反応が早く
自由に項目やレイアウトを設定できて便利です。

ブログ記事一覧				
NO	記事タイトル	URL	キーワード	備考
1	ダイエットを長続きさせるには？失敗する理由が大きなヒント	https://～	ダイエット 長続き	
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				

こんな感じですね(^^)

なんの項目が必要かは人それぞれになりますが
最低限、このくらいはいるかなと思います。
順番はもちろん自由です。

記事一覧表を残す意味は、
そもそも自分の所有物を管理することは重要ですし、

内部リンクを設定する際にすぐ URL をコピーできる、
どの記事をテコ入れ（文字装飾や画像を入れているかなど）
しているのか等々、色んな意味で管理しやすくなります。

記事をアップしたら流れ作業で
メモっていくと後々楽になるかなと思います(^^)

4・記事書き

ではいよいよ記事書きのパートです！

ここでは次の4つのことに触れていきます。

- ① 記事書きの大前提
- ② 文章構成を決める
- ③ 書き始める順番
- ④ 余計なことは書かない

まず①についてですが、
大それたテクニックとかではなく基本的な事がわかっていて、
人に役立つことを書くと意識できていれば OK です。

**基本的な事とは、
コピペや簡単なリライトはせず内容を理解した上で
自分なりの意見も交えて書くことを指します。**

記事執筆の概要部分でもお伝えしたことですね！

自分の意見・感情を交えない文の集まりは
誰が書いても同じようなものでほとんど価値がありません。

何をもって役立つかは難しいところですが
これも深くは考えなくても大丈夫です。

決まりきった法則とか方程式とかはないですし
対象となる人の数が多ければ良いとかでもないです。

人の役に立つよう意識してしっかり進めてきたなら、
人々の悩みを真剣に受け止め
解決策を提示しようとしているはずです。

その心意気があれば自然と世のため人のために
役立つ記事が書けるようになると思います(^^)

テクニク的なことを使うとしたら
そういう基礎の部分ができてからでいいでしょう。

次に②の文章構成について。

実際に記事を書き始める前に
文章構成を決めておきましょう。

前半と後半だけのシンプルな二部構成にするのか、
前編、中編、後編といった三部構成か、
起承転結の四部構成か、などですね。

僕は長らく総論、各論、結論というタイプの
三部構成で書くことが多かったです。

ブログは統一感が合ったほうが良いと言われているので
基本どれにするかを決めたほうがいいでしょう。

もちろん全部の記事が絶対〇〇構成じゃないといけない！
というわけではないので、記事ごとに臨機応変に
対処するという感じでいいと思います。

まず結論を述べてからいろいろ語って
最後にまとめというパターンが主流なので
まずはそれで練習してもいいかもしれません(^^)

続いて③の書く順番について。

記事は基本的に上から下へ書いていきますが
書きやすい順番があります。

見た目通り進めた場合、記事タイトル、冒頭文、中身、まとめ、と
上から順に書いていくと思いますが僕の場合はちょっと違います。

冒頭文

↓

中身

↓

まとめ

↓

各見出し

↓

記事タイトル

↓

概要文

という順で書きます。

大雑把にいうと中身を書いてから
題名を決めるという流れですね。

ここは人によるところですが、
個人的には中身ができた後のほうが考えやすく、
的確なタイトルがつけやすいかなと思います。

そして④の余計なことについて。

余計なこととは、
そのキーワード（記事テーマ）に関すること以外は
なるべく書かないようにしようという事です。

例えばダイエット＋長続きというキーワードなら
長続きするための何らかの方法を示すべきなのは
なんとなくわかると思います。

でも、食べ物の種類とか栄養とかとなると、
同じダイエットというテーマ内の話ではありますが、
そのキーワードの場合はちょっと違いますよね？

そのキーワードや書くテーマ（主題）を忘れてしまうと、
いつの間にか話の内容が脱線してしまいがちなので
意識するのを忘れないようにしましょう。

近年はよりピンポイントな記事内容が
求められている傾向がありますので是非覚えておいてくださいね！

5・例文

では実際に僕が書いた例文をご紹介しますね！

これはいつも僕がテキストファイルに残している形式を
そのまま書いた形です。

【大括弧】 の部分は解説や補足です。

▼ [区切り記号]

2020/〇〇/〇〇[書いた日付]

nagatuduki [記事ファイル名 (URL になる部分)]

1 ダイエットを長続きさせるには？ 失敗する理由が大きなヒント

[記事番号 + 記事タイトル]

[記事番号は自分で管理するためのものです]

ダイエットが長続きするために大事な考え方をまとめてみました。ほとんどの人が長続きせず失敗してしまいましたがそこに改善するヒントがあります。そもそも間違った考え方を基に取り組んでいると思われるのでもしかしたらあなたも思い当たるかもしれません。

[概要文 本文の後で解説します]

ダイエット 長続き[狙うキーワード]

[本文ここから↓]

ダイエットで最も大切なのは

なんといっても長続きすること！

[キーワードを意識して最初の文に持ってきました。
もちろんいつも最初である必要はありません。]

でも、それが一番難しい部分でもあります。

今回は少しでもあなたのダイエットを
成功させるため、長く続けられるコツを
調べてみたので紹介しますね ^ ^

【笑顔などのアスキーアートは文章の堅さを抑えたり
人柄が表現できて便利だと思います。
使うか使わないかは人それぞれの好みになります。】

僕なりに調べてみた結果、
ある共通点を見つけることができました。

それが「無理をしない」ということです。
【結論部分】

ダイエット手法よりも心理的な部分が
大事だと思ったので、よかったら
参考にしてみてください ^ ^

・ダイエットが失敗する大きな理由【見出し】

ダイエットの成功は
人それぞれ内容が違いますが
原則的なことはみんな同じです。

それが継続することですね！

【強調したいところは少し改行を増やすのもアリ】

まあどんなことでもですけど、
続けられないとお話になりません。

そう言われると誰でも納得すると思いますが
なかなかできない人が多いです。

その理由はたくさんあると思いますが
調べていく中で感じたのは
無理なダイエットをしているのでは？
ということ。

おそらくダイエットするぞー！と
最初は誰でも張り切りますが
その張り切るのが問題な気がします。

食事制限が典型例ですよ(^_ ^ ;)

たしかに食べる量が多ければ
減らさないといけないですが、

いきなりガツンと減らすのはマズイです…

例えば、朝昼晩ガッツリ食べていた人が、
急に果物だけとか豆腐だけとか
極端な制限をかけてしまうと…
体は拒否反応を起こします。

単純に我慢ばかりだとストレスですし、
おそらく栄養も何も考えてないですから
健康的にも問題だと思います。

〔 1 ブロックは多くても 4 行にしたほうが見やすいです。
5 行以上になるときは ↓ のブロックのように
句読点のあとに 1 行開けるなどして工夫しましょう。 〕

運動も同じ。

普段から何もしていない人が
いきなり 1 日 1 万歩とか
1 時間ランニングとか
続けるはずがありません。

あなたもそんなふう張り切ってしまい

失敗した経験はないでしょうか？

極端な食事制限をすると
反動でドカ食いしてしまったり、
運動で怪我をする恐れもあります。

昔はなんでも根性論で押し通す
という感じでしたが今は違います。

継続できないと無意味ですので
自分ができる範囲でゆっくりやるのが
最も重要な取り組み方なんですね。

どのダイエット法が良いか悪いかの前に
考え方が大事ってことです ^ ^

・継続するための4つの心構え【見出し】

【伝える事が複数ある場合は一気にバーっと解説するより
小見出しを活用して項目別にしたほうが
よりわかりやすいかなと思います。】

ではダイエットが長続きするための方法を
いくつか取り上げてみたいと思います。

・少しずつ習慣を変える【小見出し】

【小見出しを使う場合はしっかり階層を意識しましょう。
見出しがh 2 ならその1つ下はh 3 にするなどです。】

人間は変化を望んでいると同時に
変化を嫌う生き物でもあります。

もちろん辛いことは何が何でも
避けたいとも思います。

だからそう感じない程度に
少しずつ変えていきます。

例えば1日3食を2.5食にする、
1日10分のウォーキングからにするなど
無理のない範囲から始めます。

理想的なのはその行動が習慣化し
無意識的にできるようになること。

その段階までいくと
めんどくさいという概念も
ほとんどなくなるので、

モチベーション云々という発想も
出てこなくなるのではと思います ^ ^

・たまにご褒美を自分にあげる【小見出し】

定期的にがんばっただけ
ご褒美を自分にしてあげること
それを目標にまたがんばれる、
という人間心理があります。

はじめのうちはツライでしょうから
かなり有効な方法だと思います。

絶対あれこれ食べちゃダメ！
というストイックなルールだと
精神的にキツイですが、

毎週日曜日はケーキが食べられる♪
とかだと楽しく続けられますよね ^ ^

・自分を許す【小見出し】

時には誘惑に負けて
甘いものを食べてしまったり
運動をサボることもあると思います。

そこで重要なのは自分を許すこと。

ほとんどの人は自分は意志が弱い
ダメな人間だと思い込みがちですが、
それでは諦めに繋がるのでよくありません。

発想を転換して、
人間なんだからこういうときもある！
と思ったほうが精神的に安定します。

・成功例を参考にする【小見出し】

ネットでもテレビでも
成功例がたくさん転がってると思うので
たまにそういうのも見て
自分を奮い立たせるのもアリです。

個人的に参考になるなあと思ったのは
世界仰天ニュースですね！

【自分の頭の中から出てきた部分です。
自己啓発の知識とテレビネタの融合ですね！
経験が増えればこういうことも色々書けるようになると思います】

少々やり方が極端な例もありますが
しっかり痩せただけでなく
その後も体型をキープしている人が多く
理想的な例が多いです。

ポイントは目標かもしれませんね！

ただ痩せたいではなく、
痩せたあと何をしたいのか。

それがバチッと定まってるから
ダイエットの神様なる者が
降りてくるんじゃないかと(笑)

たぶん、ただ5kg痩せたいだと
続きにくいかなあと思います。

可愛い水着を着たいとか
卒業式に告白したいとか
憧れのドレスを着て結婚式を挙げるとか
そういうほうがやる気が出ますよね ^^

【こういう願望の部分は
知恵袋でたくさん見つかるので
良い記事ネタになります。】

・まとめ[見出し]

ということで、
ダイエットを長続きさせるコツは
テクニックとかの前に

心構えが大事というお話でした。

小変化、ご褒美、自分を許す、
成功例を参考に目標を立てる。

【内容を少しだけ振り返る部分。
再度出したほうが復習にもなるのでより丁寧かと思います。】

それらを踏まえて
個別具体的なダイエット法を
実践していけばいいと思います。

同時に健康に関する知識も
増やしていければなお良いです。

無理はほんと禁物ですので
忘れないようにしてくださいね！

参考になれば幸いです ^ ^
【本文ここまで↑】

6・例文の補足と書き方の基本解説

今回の例文はより自分の考え方を
反映させた作りになったかなと思います。

ネットサーフィンで拝見したサイトと
知恵袋の悩みを少しだけ使って、
あとはほとんど自分の中から
出てきた感情で構成したって感じです。

イメージでは7～8割くらいが
自分の意見や感情です。

調べてわかった言葉や内容も
なるべく自分なりの表現に変えているので
けっこうオリジナル性が出ていると思います。

僕はダイエットの知識があまりないと
あくまで例文というスタンスで書いたので
たまたまそういう割合になったのかもしれませんが。

もちろん普段は割合など気にしなくても大丈夫です(^^)

テーマはキーワードを見た感じから
心理的なことだと直感したのでそういう内容にしました。

もちろん違った切り口で書くのもアリです。

その辺は知恵袋で調べた内容や
自分の直感と相談しながら決めていきましょう！

そのキーワードのポテンシャルは書き手が決めます。

今回の記事の構成は4部構成です。

僕は結論→各論→総論の3部構成で書くことが多いのですが、
各論（本題）の部分を大きく2つに分けた形です。

初めからそうしたかったわけではなく
今回のダイエットと長続きというテーマでは
たまたまそうしたいと思っただけですね(^^)

記事タイトルは狙うキーワードを必ず 1 つ含めて書きます。
2 つ以上は不自然になるのでやめましょう。

あとなるべく左側のほうが
SEO 的にいいと言われているので、それに倣ってみました。

あと前半と後半で分ける書き方でもいいですし、
一文形式でもいいです。

例えば、

ダイエットを長続きさせるのに必要な 4 つの心構えとは？

みたいな感じですね ^ ^

数字やクエスチョンマークを入れるのは
テクニク的なことになるので
使うか使わないかはその時々で判断します。

ちなみに中身が気になる感じのほうが
クリックされやすいと思うのでその意識も大事ですね！

概要文もその点は同じです。

概要文は書かなくても記事の冒頭部分は
グーグルが検索結果に表示してくれますが、

書いたほうがよりちゃんと作っているとアピールできると思うので
なるべく書いたほうがいいかもしれません。

キーワードは最低 1 つ入れます。
多くても 2 つまでにしましょう。

一番意識してほしいのは
日本語の文章としておかしくないか、です。

ちなみに概要文は改行がなくても大丈夫です。

最後に細かい部分の補足です。

僕の場合は 1 行 20 文字までとしています。

そのくらいだとスマホの小さい方のサイズでも
変な部分で改行されないで済む可能性が高いと思うからです。

iPhone でいう MAX とか Plus と言われる
大きいサイズではないほうですね。
いわゆる通常サイズ基準です。

それはアクセス解析で一番多い媒体を基準にしているので
人によって異なるかもしれませんが大体みんな一緒かなと思います。

それに付随して改行するポイントですが
中途半端なところでしないようにしましょう！

私は旅行が大好きなので毎年飛行機に乗って遠出します。

という一文を改行する場合、

私は旅行が大好きなので毎年飛行 機に乗って遠出します。

こういうふうに変なところで改行すると
読みにくくなりますので、

私は旅行が大好きなので
毎年飛行機に乗って遠出します。

このほうが断然読みやすいですね！

読みやすさはわかりやすさにも繋がります。

それは空白行を挟むこともそうですし
見出しを設定することも関係してきます。

すごく役立つ内容の記事だったとしても
読みにくかったら台無しですので意識してくださいね！

7・おわりに

今回のレポートは以上になります。
お疲れさまでした(^^)

なんとなく記事の書き方の
概要的なことは掴めたでしょうか？

もちろん見るだけでは不十分ですので
自分の手でしっかり書き進めてくださいね！

このレポートをご覧になられているということは
何らかの形でメール登録していただけたと思います。

今後もしもお話をさせていただく予定ですので
ご縁があれば今後ともよろしく申し上げます(^^)

記事執筆 足がかりの書

著者・いーけーより